

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

<宣言日・変更日> 2021年 5月 4日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
企業の経済的価値の追求と社会的課題解決の両立を図り、持続可能な地域社会の発展に寄与する。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
100%天然性分解性素材のストロー等を普及させることで日本でのプラスチック消費量の大幅な削減を実践し、自然環境を保全しながら発展途上国の経済・社会発展に貢献しています。		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	2021年12月31日までの取組目標
	原産国のベトナム・ホーチミンの田舎に雇用を造出。	現地雇用50%増加。10人→15人
	現地で主に女性を雇うことで地域社会の経済的発展とウーマンエンパワメントに貢献。	日本側でも女性のメンバーを増やし男女の均等化を目指す。
	都会への人口移動で働き手が少なくなっている地域で農家や従業員にフェアな報酬・給与やフレキシブルで働きやすい環境を提供し、多世代に渡り生活の支えに貢献。	日本での売り上げを30%伸ばし、現地の雇用確保。
	完全生分解性素材の商品やパッケージを用い製造過程での温暖化ガスの排出や資源ロス、ゴミなどは極限に小さい。	さらにロスを防ぐべく余りの材料を利用した新商品化。
	プラスチック、PLA、紙、鉄製など、他の代替品より排気ガスがはるかに低く、業界中では画期的。	一度の仕入れを2倍に増やし流通での排気ガス量を減らす。
	プラスチックを減らす事で、海に流れる割合を大幅に減らし貴重な海洋生物の生息地を守る。	ビーチクリーン活動を導入してローカルレベルで具体的な対策を。
	森林伐採不要。循環型農法利用。オオヅルという絶滅危惧種の生息地でもある南ベトナムの湿地帯に生える天然すげ畑を守りながら経済の急成長による工場や田んぼの拡大を抑える。	農家の生活基盤を支え、保全できる範囲を広げるように現地契約を3つ増やす。日本でもビーチクリーン活動を導入する。
	日本や海外パートナーと協力して、農業、機械、AIなどの技術を取り入れ、環境活動家、専門家と連携をとり製造の効率化を測りながら、環境保全と意識拡大。	パートナーとなる団体・企業・人4つと連携。

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

事業所・団体等 又は関連事業者等 の名称	YNI JAPAN合同会社 本社が届け出る場合はその事業所の数 ⇒	
業種	7. 卸売・小売業	
代表者 職・氏名	職名	代表社員
	氏名	ターピン コーリー
所在地	〒420-0037 静岡県静岡市葵区人宿町2-6-3 パラダイスビル 3B	
従業員 (構成員) 数	8人	
事業所・団体 ホームページURL	www.strawlicijapan.com	